【経営の重点と具体策】

１　知（自ら学ぶ子の育成）

① 基礎・基本の確実な習得と「思考力・判断力・表現力　等」の育成
- 「思考し、表現する力を高める実践モデルプログラム」の活用
- 「自学力」の育成　・読書活動の充実
- 「家庭学習がんばり週間」等、家庭と連携した家庭学習の習慣化
- ＩＣＴ利活用能力、情報リテラシーの向上

② 生徒指導の機能を生かした授業の推進
- 「自己存在感」「自己決定の場」のある授業
- 「共感的な人間関係」を育くむ授業
- 「安全・安心な風土の醸成」による温かい雰囲気の学級と授業づくり

③ 校内研究の推進
- 実態に基づく、実効性のある研究の推進
- 授業研究を通した教員の指導力向上

④ 特別支援教育の充実
- 特別支援コーディネーターを中心とした校内支援体制の充実
- 個別の教育支援計画・指導計画の作成
- 障害の状態や教育的ニーズに応じた合理的配慮の提供
- 外部機関との連携による一人一人に応じた指導・支援の充実

２　徳（心豊かな子の育成）

①　道徳教育、人権教育、命を大切にする意識を育む教育活動の充実
- 「考え、議論する道徳」の充実、指導・評価の工夫改善
- いじめ、暴力行為、児童虐待等の早期発見、早期対応への取組
- 学校生活アンケート（毎月）、教育相談週間（年３回）、いじめゼロへの取組の実施
- ＳＯＳの出し方教育の推進

② 体験活動（様々な人やもの、ことにふれる活動）の充実
- 磯観察　・生活科、社会科校外学習　・校内、校外での栽培活動
- 郷土料理作り　・高齢者ふれあい学級　・近隣大学留学生との国際交流会　等

３　体（たくましい子の育成）

① 健康教育の充実
- 家庭・関係機関と連携した、望ましい生活習慣の確立
- 安全で楽しい学校給食、食に関わる資質・能力を高める食育指導の実施
- 発達の段階に応じた保健指導の実践

② 運動に親しむ資質や能力の育成、体力の向上
- 新体力テスト等による実態を加味した体育学習の充実
- 浪花っ子タイム、年間を通した一輪車への取組等、教科体育以外での体力向上への取組

４　安全・安心で信頼される学校

①　安全点検、各種避難訓練、引き渡し訓練等の実施
②　警察署と連携した交通安全教室、日常的な交通安全指導の実施
③　家庭・地域と連携した子供見守り活動の実施
④　連絡メールによる情報の共有
⑤　授業や学校行事の積極的な公開と、ホームページや学校だより等による情報発信

５　教職員の業務改善

①　教職員の勤務時間（在校等時間）の客観的な把握
②　ワーク・ライフ・バランスを意識した労働時間の適正化と負担感の軽減
③　資料、データの共有化、業務量縮減による効率的な業務の推進